



体協だより

健康

癒し

リフレッシュ

vol.13

ひたちなか市体育協会

平成28年3月31日発行

# Let's SPORT!

ひたちなか

発行・編集／ひたちなか市体育協会 広報紙編集委員会（ひたちなか市市民生活部 スポーツ振興課内）

〒312-8501 ひたちなか市東石川2丁目10番1号 ひたちなか市役所 第1分庁舎1階

TEL.029-219-7373（直通）／029-273-0111（内線2113）

<http://www.hitachinaka-taikyo.jp/>

ひたちなか市体育協会

検索



湊中学区等の方々を中心とした照沼旧道入口のボランティア



蛇の目寿司前交差点で交通整理を行う皆さん



高場十字路でのランナーへの一時中断指示の様子

## 市民ボランティア 大会成功に貢献 第64回勝田全国マラソン大会

今年も勝田全国マラソン大会が1月31日（日）に開かれ、18560人ものが参加者が表町商店街をスタートし、石川運動ひろばのゴールを目指して力走しました。フルマラソン女子ではひたちなか市出身の黒澤夏楠選手（日立）が優勝するなど地元ランナーも大活躍。大会の運営を支える多くの市民ボランティアも、大会の成功に貢献しました。体協からは679名のボランティアが参加しました。

国道245号線沿いの蛇の目寿司前交差点では3名の方々が交通整理に従事していました。午前10時30分の交通規制開始を前に緊張

が高まる中、ボランティアの黒澤さんは「ここは10kmもいかない地点なので、体調管理をしながら無理をしないで走ってほしいです。以前に私もフルマラソンを走った経験があり、30〜35km地点でスビッドダウンしてしまった記憶がありますので、楽しんで走り自分の記録を出してほしいですね」とランナーに対する思いを口にしていました。

東海村の照沼旧道入口では湊中学区等の方々が交通整理を行っていました。「最近では応援になつていますよ」と言うほど、交通量の少ない場所だそうですが、それでも旧道から国道に出ようとする乗用車には気を配っていました。

高場十字路でランナーの一時中断指示を行っていたのは川崎さん。高場陸橋を所狭しと渡るランナーの安全確保と円滑な交通整理を求められる業務について、「ランナーのタイムにも関わるので、止めるタイミングが難しいです。ここは大きな交差点で応援の方もたくさんいるので、目配りするのも大変かなと思っていましたが、賑やかなのでやりがいもありました。」と語ってくれました。

このように、朝早くから各々の役割を全うした多くの市民ボランティアの一人一人が、大会成功の立役者となったことは言うまでもありません。

## 新たな歴史へのスタート 〜第70回三浜駅伝競走大会〜

伝統行事の三浜駅伝競走大会が12月6日(日)に開催され、7部門207チーム、計1235人が那珂湊、平磯、大洗の三つの浜を駆け抜けました。戦後復興としてまちに活気を取り戻そうと昭和22年に第1回大会が開催されてから、今回で70回目となる節目の今大会。開会式では、大洗町立大洗第一中学校の選手による「歴史ある第70回記念大会に参加することに誇りを持ち、自分を信じ、仲間を信じ、タスキに想いをこめて、力の限り全力で走り抜く」と力強い選手宣誓がありました。

また、本年度も本部近くのブリスで那珂湊漁業協同組合女性部のご協力により、サンマのつみれ汁が選手や応援の方々に振る舞われ



ました。地元のトランペット奏者、コナツツ石井さんの素晴らしい演奏もあり、応援の方々と走り終えた選手たちにとって癒しのひとときとなりました。

若手の登竜門となっているこの大会から、マラソン、国際陸上、箱根駅伝など多くの選手を輩出しています。茨城国体や東京オリンピックの夢の舞台でも、この大会から、多くの選手が羽ばたいてくれることを期待したいと思います。

(助川記)

### 各部門の結果(優勝チーム)

|            |             |
|------------|-------------|
| 中学男子の部     | 東海中         |
| 中学女子の部     | 常澄中         |
| 高校男子の部     | 水城高校A(総合優勝) |
| 高校女子の部     | 太田一高        |
| 一般男子の部(1部) | 茨城大学陸上部A    |
| 一般男子の部(2部) | 日立製作所       |
| 一般女子の部     | 茨城大学陸上部     |

## オリンピックデーラン 2015ひたちなか大会

11月29日(日)市総合運動公園で「2015オリンピックデーランひたちなか大会」が行われました。当日は、天気にも恵まれ申込みをした1600名(延べ2739名)の皆さんが朝早くから開会式の会場の陸上競技場に集まり、オリンピックの方との交流を楽しんでいました。

永盛副市長の挨拶の後、エスコートキッズ6名、トーチランキッズ10名の子どもたちとオリンピックアンが一緒にオリンピック旗を掲げてグラウンドを半周して、正面演壇前に到着すると会場の皆さんから大きな拍手があげられました。

ひたちなか市でオリンピックデーランが開催されるのは連続11回目で、全国でも最多の開催地で、参加人数が最も多い大会でもあり



ます。

「2020東京オリンピック」のキャンプ候補地としての誘致を検討している、静岡県富士宮市と群馬県高崎市職員の方が来場し、施設周辺の立地や運営方法並びに来場者の対応の様子などを熱心に視察されていました。

陸上競技場の走り幅跳び砂場近くでは、開会式の始まる前から小学生が幅跳びを始め、その様子を見ていた朝原宣治さん(陸上競技)、大林素子さん(バレーボール)が急きょ跳躍の指導についてくれました。

オリンピックとのジョギング・ウォーキングでは、老若男女笑顔でスタートして、心地よい汗をかきながらゴールしていました。

運動後のトークショーでは、芝生の上でオリンピックの皆さんから現役時代の話を聞いたり質問をしたりして、グラウンド上で楽しい半日を過ごしていました。

(磯野記)



# 専門部だより

## ラグビーをとoshite築く 明るい地域づくり

会長 杉浦 徹

当協会は、ひたちなか市を中心に活動するラグビープレーヤーや、指導者を中心に、10代から60代まで総勢100名ほどで構成されています。

主催している大会・競技会としては、2015年のワールドカップで話題となった15人制の大会に加え、2016年のオリンピックで正式種目として採用される7人制の大会を実施しています。また、タックルなどのコンタクトプレーがなく、初心者や女性、子供でも気軽に楽しめるタッチフットやタグラグビーなどによる普及活動も行っております。

主な競技活動の時期としては、春季に7人制の大会、秋季に15人制の大会、7月にタッチフットの競技大会を実施しており、それぞれのシーズンで、競技者同士の交流を図っております。

ラグビーは縦の長さ30cm、横の直径20cmの楕円球を、相手陣地まで持ち運ぶ競技です。自分の前にいる仲間へのパスができないことになっていくため、ボールを持つて走る、パスをする、キックすることにより得点（トライ）を狙い



ます。

ボールを持ったプレーヤーを捕えて倒すタックルなどのコンタクトプレー、スクラムやモールなどの密集でのプレーなど、ほかの球技では見られないラグビー独自のプレーが見どころです。

昨年に実施されたラグビーワールドカップにより多くの人が注目を受けることとなりました。そのため特に小中学生向けのラグビースクールに対する入会や見学の問い合わせも例年に比べて増加しており、これを機にラグビーに興味を持っていただき、競技を観戦する人や実際にプレーする人が増えることを期待しています。

当協会の活動をとoshite、ひたちなかを中心とした地域の方々との交流を行っていききたいと思います。

## ソフトテニス連盟の 沿革

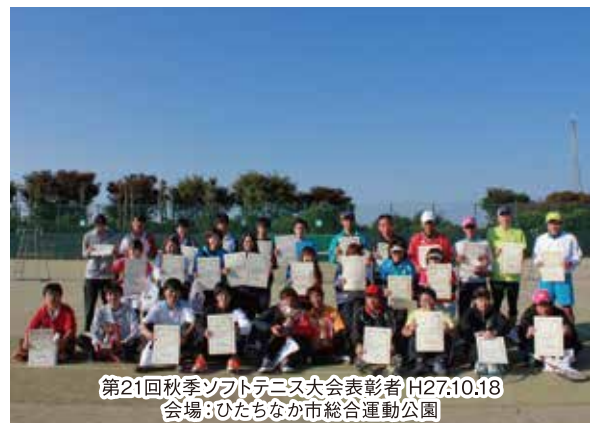
会長 小林 徹二

ソフトテニスは明治時代に軟式庭球と称し、日本で発祥したスポーツです。ゴムボールを使用することから体に与える衝撃も少なく、若年者から高齢者まで幅広く生涯スポーツとして愛されています。

本連盟の先駆けは、昭和30年に日立製作所等の有志の方々が中心となり秋の競技を開催しており、旧勝田市においては昭和50年に連盟に加盟しました。現在のひたちなか市体育協会に所属してからも21年を経過しており、通算では61年を数える、歴史ある連盟です。

年間の主な事業は、競技会を開催しており、中学校大会個人戦・団体戦で2回、春秋にそれぞれ男子A・B、女子、成年、シニアの各部で競技大会を開催し、年度末に優秀な選手による選抜大会を行っています。その他に年1回夏に3チームによる団体戦を開催するなど、地域及び各事業所・学校などの振興を図っています。

特に春季中学校近郊大会はひたちなか市のみならず、水戸・城里をはじめとする近郊中学校から優秀な選手に参加してもらい、当市中学校のレベルアップを図っており、これまでも関東中学校大会、



第21回秋季ソフトテニス大会表彰者 H27.10.18  
会場：ひたちなか市総合運動公園

全国中学校大会へ多くの選手が出場しています。

一方、高齢者まで参加できるシニアの部で県大会はもとより、関東大会・東日本大会・全日本大会に80歳近い方も積極的に参加され実績を出されており、まさに生涯スポーツのお手本となっています。近年は老若男女にかかわらず参加の関口を広げ、技術向上の目的と生涯スポーツの推進を見据え参加者を募ってまいりたいです。次年度は女子の成年・シニアの部も追加していく計画です。

何処のクラブにも所属していないフリーの方や、やりたいのに日頃練習できないような方は市民クラブ（勝田クラブ等）もありますので、皆さんの多くの参加を待ちたいしております。

## 「私と陸上競技」

日本陸上競技連盟

副会長

友永義治

(市内在住)

昭和43年に会社に入社。今は既に退職の身でありながら陸上界の発展のお手伝いをさせて頂いています。

子供の頃、みんなより足が少し速かったこともあり、中学に入り陸上競技の短距離を始め、高校時代はインターハイの200mで5位になりました。自分たちで自由に練習内容を考えてやれたこともあり、毎日ほとんど休むこともなく練習したことを覚えています。その頃は練習が楽しかったのです。社会人になり、よき指導者にも恵まれ1年目、2年目、3年目と記録も順調に伸び400mで日本新記録を達成できました。おかげで昭和47年22歳の時ミュンヘンオリンピックにも出場できました。自分なりに努力してきたことが実を結ぶと共に、各合宿や遠征など色々と経験をさせてもらい、たくさんの人にもめぐり会いました。それらの経験から自分に自信が持てるようになり積極性が出てきました。

競技生活の途中では、



昭和47年日本選手権200mで優勝

何度か怪我やスランプがありましたが、以前の身体リズムを思い出しながら余計なことは考えずマイペースで続ける中で意外と早くスランプを脱することもできました。記録が順調に伸びている時は、ひたすら記録の向上を目指して頑張れるものです。自分なりに記録が出せると思っている間はその記録に到達するものです。だから少しずつ上を目指すように修正しながら自分を信じてやってきました。しかし自分で勝手に壁を作ってしまったらそれは超えられませんが、陸上競技は球技のようにテクニクでカバーできる割合は少なく、身体能力をすべて出し切った記録の競い合いです。若いうちは自分が一度は出した記録ですから大小の差こそあれ自ら考えて努力すれば超えられるものです。これらは日常生活にも共通したことだと今も思っています。

## 「フルディックウォーキング体験会」

スポーツ推進委員 根本吉則

11月21日(土) 石川運動ひろ

ばに於いて、ひたちなか市スポーツ推進委員会自主事業「ノルディックウォーキング体験会」を開催。晩秋の澄みきった青空の下、



市内から約80名が参加しました。

ノルディックウォーキングは、1930年頃北欧フィンランドで冬のスポーツであるノルディックスキの夏場の練習として、ポール(ストック)を使って山道を走ることから始められた競技です。当日は初心者から経験者まで、幅広い層の方々のご参加により体験会がスタートしました。5つのグループにわかれ、ウォーミングアップ、ノルディックウォーキングの歴史や基本動作の説明及

び実技指導を行った後、石川運動ひろば外周道路の約2kmを歩きました。

参加者からは、約2kmの体験でしたが普段のウォーキング(散歩)よりも身体全体を使っているため適度な運動量であったことやもう少し長い距離を歩きたかった等の感想をいただきました。

本体験会の開催に当たりスポーツ推進委員会では、普及活動のために約30名が指導者資格を取得しました。

今後、市内各地区からの要望があれば出前教室を開催致します。手ぶらでも参加いただけるよう貸し出し用ポールもありますので「ひたちなか市スポーツ振興課」にお問い合わせ下さい。

さあ、ポールを持ってノルディックウォーキングを始めましょう！





いろいろな場面で  
スポーツを楽しんでいる方々に  
スポットライトをあててみました!

# スポっツ ライト

春までは高  
体連の試合  
に参加させ  
ていただ  
き、それ以  
降は一般市  
民の方々の  
大会に参加  
させていた  
だいていま  
す。また、  
年に 1 回で  
すが高専門  
の試合があ  
り、関東信



平成27年度関東信越地区高専大会



小山高専との練習試合の後

茨城高専は昭和39年に創立され、以来ずっとこの勝田の地で、地域の方々のお世話になっております。中学校を卒業後5年間かけて理工系の教育を行っています。また、平成13年度からは、さらに2年間学ぶ専攻科が設置され、22歳までの学生がキャンパスで学んでいます。

越地区の10高専による地区大会、そして勝ち上がれば、全国大会へ参加することが出来ます。今年度は実力のある1年生が入ってきたこともあり、地区大会では、男子団体、男子シングルス、男子ダブルス、女子シングルス、男子ダブルスは準優勝という結果でした。そして熊本で行われた全国大会でも、男子シングルスと男子ダブルスで優勝という快挙を成し遂げました。

最後になりますが、茨城高専テニス部では、定期的に部員を指導してくださるコーチを募集しています。また、練習試合をしてくださる団体(高校、大学、一般を問わず)も随時募集していますので、ぜひ気軽に声をかけて下さい。今後ともよろしくお願い致します。

## 茨城高専 テニス部の紹介

顧問 原嘉昭

## ひたちなか市から Jリーガー誕生

鹿島アントラーズ 平戸太貴選手

ひたちなか市出身の平戸太貴選手(18歳)が鹿島アントラーズのトップチームに入団することとなり、本市から初めてJリーガーが誕生しました。



入り、以後ジュニアユースチーム、ユースチームでミッドフィールダーとして活躍。昨年は鹿島アントラーズユースの一員として高円宮杯U-18サッカーリーグ2015で日本一に輝くなどの実績を積み、今年はトップチーム昇格を果たしました。

今年のJリーグ開幕に先立ち行われた会見では、「目標としていた鹿島アントラーズのトップチームに入ることで、大変嬉しく

入っています。今まで関わってくれた全ての方々への感謝の気持ちを忘れずに、鹿島アントラーズを支えていけるような選手になっていきたいと思っています」と抱負を述べました。また、「生まれ育ったひたちなか市にプレーなどで恩返しできたらいなと思っています。常に目標や夢を持ってやっていたら夢は叶うと思うので、今後2人目のひたちなか市出身Jリーガーが誕生することも願っています。1年目からしっかりと試合に関わって勝利に貢献できるように頑張るので、応援をよろしくお願いします」と本市に向けてもメッセージをいただきました。

1年目の背番号は、一昨年まで笠間市出身の野沢拓也選手(現ベガルタ仙台)が背負っていた35番。鹿島アントラーズの一時代を築いた野沢選手のように、カシマススタジアムのピッチで背番号35が躍動することを期待しましょう。



右から2番目が平戸選手

# スポ少だより

## 学童野球のレベル 向上をめざして

勝田野球スポーツ少年団

団長 大高甲子男

当野球スポーツ少年団は、野球を通し青少年の精神と身体の育成を目的とし昭和56年に設立されました。現在は約50名の団員が毎週土曜日、日曜日、夏休みは水曜日、西原第二グラウンドを中心に指導員9名、後援会活動支援者8名を有し、互いに切磋琢磨しながら活動しております。指導は6年生、5年生、4年生と3年生以下に分け、各学年担当者を決め、4年生以上は技術の習得と大会へ向けての練習、3年生以下は、野球の楽しさやボールの握り方などの基礎技術の指導をしております。

今年で、33回を迎えた歴史と伝統ある「秋季少年野球大会」ほか夏のミニ甲子園学童野球とも言われる市長杯（少年野球連盟主催）これらの大会は市民球場を中心に市内7会場において行われます。開会式にはチアガールによる素晴らしい応援があり、大変盛り上がりです。各チームの監督さんや、保護者の方々からも設備の整った市民球場で試合が出来たことは子供たちの一生の思い出になると、喜ばれております。今年もナイターでの大会など年間30数回の大会に



参加しました。野球はチームスポーツですので、勝った時は皆で喜び、苦しい時は皆で乗り越え、仲間のことを考えられる選手になって欲しいと願っています。夏季には宿泊学習、秋季にはスポーツ少年団駅伝大会、そして地域における体育事業への参加もしております。今後私たち指導者は学童野球のレベル向上と次の世代を担う青少年のたくましい成長に寄与出来るよう努力してまいります。



## 護身の技を 学びながら作る人間力

湊少林寺拳法スポーツ少年団

団長 藤咲久光



少林寺拳法の技の特徴は、あらゆる攻撃から身を守って負けない形を作り、同時に反撃する「護身の技」で構成されています。普段練習している技は、突き・蹴りを主体とした「剛法」、抜き技・投げ技・固めを極める「柔法」から成り立っています。あらゆる攻撃から身を守るために作られた武道ですから、技の数も六百以上あり、基本的なものから順に、各階級ごとに決められた技を習得して昇級・昇段していきます。練習内容は、前半は準備体操の後、基本練習を行い、休憩後各クラスに分かれてそれぞれの技を習得していき

ます。基本練習では「突き」「蹴り」「受け」「型」「受け身」を行い、高度な技を習得できる体を作っていきます。後半のクラス別に分かれた練習では、例えば一級資格の拳士なら初段の技を練習し、黒帯を目指します。練習での特徴は「組手主体」といって二人で互いに技を掛け合います。交互に攻撃・防御の技を行い、共に上達していく練習法になっています。このように練習方法が相手を上手にすることで自分が上達するという、人間社会に必要な「調和力」を育む方法になっています。半面、武道という厳しさをもつて望みますから、自分に負けない強い精神力が必要になります。練習日は毎週水曜日と土曜日で、場所は松戸体育館と湊武道館です。体験見学で試してみてください。





## 第5回がんばっぺ茨城 インディアカ

### 交流大会開催

2月7日、ひたちなか市総合運動公園総合体育館において、第5回がんばっぺ茨城インディアカ交流大会が、本市から9チーム、県内19チーム、県外31チーム合計59チーム参加のもと、盛大に開催されました。

この大会は、5年前に発生した東日本大震災を契機に、県内及び県外のインディアカ愛好者と呼ばれる目的で始まり、今回節目となる5回目を迎えました。被災地でもある福島県からも9チームの参加があり、大会に花を添えていただきました。

インディアカは、生涯にわたって、いつでも、だれでも、どこでもできるレクリエーションスポーツで、羽根のついたインディアカボールを手で打ち合うバレーボールに似たスポーツです。ブラジルの伝統的なゲーム「ペテカ」をドイッに持ち帰り、その用具に改良を加え、インディアカゲームを考案したものです。また、名前の由来は、「インディアン」と「ペテカ」の合成語として「インディアカ」が生まれました。

本大会は、シニア女子の部、男

女混合の部、シニア混合の部の3クラスを11ブロックに分け、予選リーグを実施。その後、順位決定リーグを行い、それぞれのコートで熱戦を繰り広げました。

市内には、インディアカ連盟に13クラブが加盟し、市内の小学校等の体育館で夜間練習に励んでいます。興味のある方は、覗いて見てください。

東日本大震災から丸5年が過ぎ、その記憶は多くの人々から消えかけ、風化しつつあります。インディアカが当たり前にできることがどれだけありがたく、素晴らしいことかを、改めて再認識しました。

(助川記)

インディアカ  
ボール



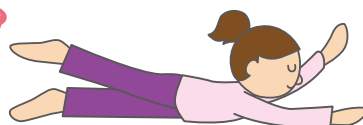
## Vol.2

### ヒップアップや 腰痛予防につながるストレッチ!!

スポーツトレーナーアドバイス

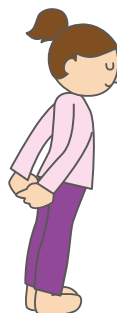
いよいよ4月、新年度のはじまりですね。皆様お身体の調子はいかがですか。新生活が始まり、慌ただしい日々を過ごされている方も多いのではないのでしょうか。もし「最近疲れ気味だなあ」と感じたなら、お家の中のできる簡単なストレッチでお身体の調子を整えましょう。なお、ストレッチは、不規則に長時間行うよりも、毎日少しずつ継続して行う方が効果的です。毎日続ければ、ヒップアップや腰痛予防にもつながりますよ。

#### ①ヒップアップ



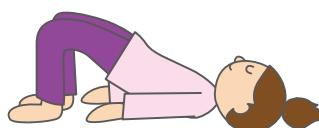
上体をそらし、左腕と右足を1回ずつゆっくりと持ち上げる。次に、右腕と左足を同様に持ち上げる。これを交互に行う。(各10回くらいを目安に)

#### ②胸と肩



手を後ろで組み、胸を開いて肩甲骨を寄せる。息を吐きながら上体をそらせ、前に倒してそのまま約10秒静止。息を吸いながらゆっくり上体を起こす。

#### ③全身引き締め



仰向けになり、足の裏を床につけたまま腰を持ち上げる。胸・おなか・ひざが一直線になる高さまで持ち上げ、そのまま約20秒静止。

#### ストレッチのポイント

- ①の運動は、勢いをつけずに行うこと。お尻の引き締めを意識して、腰はそらさないように。
- ②の運動は、胸を開いてストレッチするとともに、肩まわりの緊張をほぐしていきましょう。
- ③の運動は、腰を上げるときに、骨盤をぐっと上に持ち上げるイメージで。左右の足は同じ高さに。

監修



スポーツトレーナー  
内島 秀明

ひたちなか市毛 513-5  
コンディショニングルーム秀 代表

## 平成27年度体育協会振興大会報告

本年度のひたちなか市体育協会振興大会が平成28年1月17日(日)にホテルクリスタルパレスで開催されました。各団体から461名が出席し、本間源基会長挨拶、来賓として打越浩市議会議長、磯崎達也県議会議員の挨拶に続いて、本年度の功労者(加盟団体推薦個人36名、団体1団体)が表彰されました。また、受賞者を代表して佐藤健一さんが謝辞を述べられました。その後、「前渡を明るく住みよくする会」飯島光則会長の乾杯の後、昨年に引き続きアトラクションとして「クロスオーバース」の皆さんによる軽快な演奏でレセプションが始まりました。



演奏は演歌から有名な外国の曲まで幅広いジャンルの曲が披露され、会場は新春にふさわしく賑やかな雰囲気になりました。

最後は「佐野の和を推進する会」清水傳吾兵衛会長の万歳三唱で幕を閉じました。

本年度の功労者は、次のとおりです。

### ◇加盟団体推薦

〈本会のスポーツ振興発展に貢献し功績が顕著だった者(5年以上の実績)〉

野球連盟 根本 顕二  
ソフトボール協会 西野 浩二  
バレーボール協会 岩淵 桂子  
サッカー協会 方波見 博  
ソフトテニス連盟 菅原 正弘  
陸上競技協会 佐久間和志  
柔道連盟 藁谷 智彦  
ひたちなか地区剣道連盟 白戸 栄司  
スキー連盟 佐藤 健一  
テニス連盟 齋藤 康司  
ゴルフ連盟 飛田 均  
ダンススポーツ連盟 荻谷 栄  
勝田なぎなたクラブ 中本 知夏  
インディアカ連盟 田所 郁也  
ゲートボール連盟 小野寺節子  
健康体操クラブ 相原 紘一  
太極拳連盟 村中 和雄  
グラウンド・ゴルフ協会 中村 睦子  
一中地区体育部会 西野 孝司

二中学区体育部会 飯泉 紀子  
前渡体育部会 清水 道子  
佐野体育部会 坂本 正美  
大島地区体育部会 川田 欣二  
田彦中学区体育部会 加藤 誠  
湊中学区体育部会 宮本 康行  
平中学区体育部会 磯崎 弘美  
阿中学区体育部会 川上 優仁

### ◇スポーツ少年団種目別部会推薦

サッカー部会 川上 信一  
ソフトボール部会 川又 雄作  
水泳部会 樋口 正  
剣道部会 椎名 士朗  
軟式野球部会 岡部 和幸  
バレーボール部会 川島あずさ  
卓球部会 森 公子  
ミニバスケットボール部会 西野 克己  
バドミントン部会 大谷 尚美

### ◇会長推薦(褒賞)

〈全国大会で3位以内・関東大会で1位の個人又は団体〉

### 個人

ひたちなか地区剣道連盟 大都 弘道  
卓球連盟 綱川 正  
陸上競技協会 宮嶋 優華  
テニス連盟 遠藤 悠馬  
テニス連盟 箕輪 裕樹  
レスリング部会 大内 誠  
レスリング部会 助川 遼成  
レスリング部会 大内 真美  
団体 卓球連盟 茨城工業高等専門学校卓球部

### 編集後記

今年のはりオ五輪の年、2019年には茨城国体、そして2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。『スポーツの祭典』スポーツには様々な力が秘められており、多くのボランティアに支えられていることも忘れてはならない。

本誌は、市内のスポーツイベントを中心に編集しました。

ご意見等お寄せくだされば幸いです。(清水(傳))

### 【広報委員】

高場恵子 齋藤純子 清水敏治  
助川保彦 磯野好久 飛田政義  
五十嵐雅高 遊佐保 古川由治  
牧野米春 清水傳吾兵衛  
順不同



クロスオーバースの演奏(アトラクション)